

2011年度
関西学院大学ロースクール

一般入試（法学既修者）

刑 法 問 題

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【刑 法 問 題】

つぎの事例において、甲及び乙の刑法上の罪責について論じなさい。

某日、失業中の甲は、生活費に困り、だれの家でもよいから空き巣に入ることを決意し、この計画を、遊び仲間である乙に打ち明けた。遊興費に欠いていた乙も、甲の提案に同意した。甲と乙は、相談の結果、A宅に空き巣に入ることとし、甲が下見と見張りをし、乙がA宅へ侵入して金品を盗ることにした。

犯行当夜、甲はA宅の2階の窓に明かりがついていることに気づき、すでにA宅に侵入していた乙に、携帯電話のメールで、「誰かいるようだ。俺は逃げる。お前もやめておけ。」と一方的に連絡し、現場から立ち去った。

甲からメールでの連絡があった時点では、乙はいまだ金品の物色を始めていなかったが、せっかく侵入したのに何も盗らずに帰るわけにはいかないと、1階居間にあった机の引き出し内をあさっていた矢先、2階から降りてきたAに発見され、「泥棒、泥棒。」と大声で叫ばれたため、何も盗らずに逃走しようとしたが、Aに取り押さえられそうになったので、Aの顔面を殴打し、Aがひるんだすきに逃走した。